

# 342人「春」つかむ 樽商大で合格発表



学生会館の前で胴上げの祝福を受ける合格者

入試が6人、  
層間コースの現役生の比  
率は78・5%で、昨年度よ  
り7・2割減った。後期日  
程の合格発表は21日。  
(徳島弥生)

小樽商大の2017年度  
前期日程入試の合格発表が  
7日、同大で行われ、34  
2人が合格した。受験番号  
が午前10時に学生会館前に  
張り出され、自分の番号を  
見つけた受験生は「あつた  
と喜びの声を上げたり、ガ  
ッツポーズで喜びを爆発。  
ラグビー部から胴上げされ  
たり、応援団から祝福のエ  
ールを受けた。

小樽商大高校3年の本間  
陸さん(17)は「不安もあっ  
たので、合格発表を見に来  
ようか迷ったけど、来て良  
かった。胴上げされてうれ  
しい。大学に入ってもサッ  
カを続けて、勉強も頑張  
りたい」と話した。

同大によると、合格者の  
内訳は層間コースが311  
人、夜間主コースが25人、  
専門学科・総合学科卒業生

# 産学官組織が現地物産展初参加へ



## ベトナムで小樽産品PR

小樽市や小樽物産協会、小樽商工会議所、小樽商大などをつくる産学官組織「小樽産品販路拡大支援事業実行委員会」が今年度、ベトナムで小樽の特産品の市場開拓に乗り出す。現地で物産展に初参加し、小樽で製造される水産加工品や菓子、酒類などを販売。経済発展が続く同国で市場調査のアンケートなども行い、輸出につなげたい考えた。

(中野訓)

### 事業費200万円 市の補助金活用

新年度の事業費200万円は全額、市の補助金を活用。市は、開会中の第1回定例市議会に提出した2017年度一般会計予算案に計上した。

事業内容は、北海道商工会議所連合会が今秋、同国最大の都市ホーチミンで開

小樽市  
予算  
2017

催を計画する道産品の物産展に、同実行委メンバーが参加し、小樽産品を試験販売。品目はワインや日本酒、スイーツ類、魚介類の薫製、珍珠などが想定され、現地の消費者がどのような食品を好むのか調べる。

これとは別に、日本の食品への需要や望む価格帯などについてのアンケートを小樽商大関係者の協力で実施。卸売業者や小売店などを訪れ、現地での食品の販売状況も調べる予定だ。

市によると、同国は人口9千万人を超え、近年は実質国内総生産(GDP)が毎年6%前後増加するなど著しい経済成長を続けている。日本の食品に対する現地の消費者の信頼度は高く、一方で、シンガポールなど他の東南アジア諸国と

比べ、まだ日本の産品の輸出量は少ないという。同実行委事務局を務める市産業振興課は「新規参入の余地があり、有望な輸出先となることが期待できる」と、同国に狙いを定めた理由を説明している。